

## 令和5年度 第12回浦川原区地域協議会 次第

と き 令和6年3月25日(月) 18時30分から

ところ 浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

### 1 開 会 ( : )

○会議の成立確認(成立出席委員数6人) 出席委員数\_\_\_\_人 欠席委員数\_\_\_\_人

○会議録の内容確認者の指名 確認委員の氏名 春日 清美 委員

### 2 協 議

- ・北城町一丁目町内会長からの文書(町内防犯灯(LED灯)の取替修復工事)について
- ・次期地域協議会への申し送り事項について(資料1)

### 3 報 告

#### (1) 会長報告

#### (2) 委員報告

- ・中学生との意見交換会について

#### (3) 市からの報告

- ・令和6年度浦川原区の主な事業と予算について(当日配付)
- ・持続可能な地区別まちづくりワークショップについて(資料2-1、2-2)
- ・地域協議会委員の公募結果について

### 4 その他

- ・浦川原区地域協議会だより第58号の発行について(当日配付)

### 5 閉 会 ( : )

## 次期地域協議会委員への申し送り事項について

### 1 申し送り事項とは

- ・委員の改選に当たり、現委員による自主的審議を経て市長へ意見書を提出した案件及び地域課題として委員から提案のあった案件について、継続審議の検討を次期委員へ申し送るもの。
- ・申し送り事項の取扱いについては、次期委員が協議し審議するかどうかを判断するため、強制力はない。

### 2 次期浦川原区地域協議会に引継ぐ事項

現委員が任期中に審議した事項や勉強会での経過を踏まえた次期委員への継続協議・検討項目は次のとおり。

#### ① 自主的審議事項（村松副会長）

- ・区内の過疎化対策
- ・鳥獣（イノシシ）対策

#### ② 東頸中学校生徒との意見交換会（ワークショップ）（村松副会長・池田副会長・春日委員）

- ・浦川原区地域協議会が平成 26 年から実施してきた中学生との意見交換会は、大変有意義なものであることから、事業の趣旨を踏まえ、大島・浦川原・安塚 3 区の中学校統合後も、本事業を継続していただくよう、大島・安塚両区の地域協議会と協議していただきたい。

#### ③ 文化の継承（春日委員）

- ・文化の継承には、地域の人に見てもらう場が必要だと考えるので、各団体それぞれの考えもあると思うが、披露する場の確保に向けて各方面に働き掛けを行ってほしい。

#### ④ 意見交換会（春日委員）

- ・懇談会の開催に当たり、テーマを設定し地区で意見をまとめられるようにするなど、より意見を引き出せるような意見交換会のあり方を検討してほしい。

#### ⑤ 地域協議会（春日委員・藤田会長）

- ・委員が互いに率直な意見を述べ、意見交換を行うことにより、議論が深まり、地域協議会が活性化すると考えるので、部会、小グループなどに分かれてフリートークができる場を設けられるよう、任期の初めに議論していただきたい。
- ・地域協議会委員の資質の向上を図るための研修会と、住民への啓発として公開講座(研修)等を開催すること。

⑥ ほくほく線の利用促進及び利便性向上について（藤田会長・小野委員）

- ・新幹線上越妙高駅への直接乗り入れ本数を多くすることについて、北越急行(株)任せでなく、住民の声を反映させていくことを協議し、実現に向けて審議を継続する。
- ・JR黒井駅への停車本数を多くすることについて、SDGsの観点で利用促進を図る。
- ・新車両については、必ず車内トイレを設置すること。
- ・ほくほく線駅舎の利活用について、さらなる審議を進めることをお願いしたい。

⑦ 浦川原区における「地域活性化の方向性」について（藤田会長・小野委員・宮川委員）

- ・大島区・安塚区・牧区・三和区等近隣の区と比較して、交通網が恵まれている。このことを宣伝するとともに、各町内会に呼び掛け「空き家の再利用」「耕作放棄地の利用」「観光事業」等を地域の独自予算により活性化していけるよう諸団体の育成を図る。
- ・田んぼダムにちなんで、農業の担い手不足や地元農業の安定した経営が出来るような仕組み作り、区独自の取組などを検討願いたい。
- ・地域活性化の方向性に掲げられている商店及び飲食店の新規開店を促進し、人口減少に歯止めをかけていくというのは非常に難しい案件であるが、引き続き検討をお願いしたい。

⑧ 予約型コミュニティバスについて（小野委員）

- ・予約型コミュニティバスの導入に伴う利便性や問題点の洗い出しの検証をお願いしたい。

令和6年度 浦川原区の主な事業と予算

(予算額は万円未満切り捨て)

事業項目	予算額	内 容
浦川原区地域振興事業	294 万円	浦川原区の地域振興と活性化を図るため、各種イベントに補助金を交付する。(うらがわらまつり、柴又児童交流、柴又地域交流、月影芸能まつり) 【地域独自の予算事業】 【新規】 ・ネットショップ網を生かした物品販売による地域振興事業補助金 ・月影の郷運営委員会活動記録冊子発行事業補助金
浦川原コミュニティプラザ管理運営費	3,034 万円	地域における多様な市民活動の場を提供するため浦川原コミュニティプラザを運営するほか、施設の維持管理を行う。 ・コミュニティプラザ、車庫棟の維持管理
地域おこし協力隊を活用した集落支援	463 万円	【新規】 「水田耕作と集落支援による地域活性化」、「月影雅楽保存会への参加による伝統文化の伝承」、「情報発信や地域外との交流による移住促進」を目的に、谷集落において地域おこし協力隊員を募集し、地域活動を通じて地域の将来像の実現や課題解決に向けた取組を支援する。 ・報償費、その他活動経費等
コミュニティバス事業など	832 万円	【新規】 高齢者の通院や買物、高校生の通学に利用しやすい移動手段を確保するため、予約型コミュニティバスの実証運行を行い、地域の実情に合った運行方法を検証する。この検証を踏まえ、浦川原区全域を対象に、10月から予約型コミュニティバスを本格運行する。 ・予約型コミュニティバス実証運行業務委託(4月～9月)
在来線の鉄道利用など	22 万円	ほくほく線への愛着やマイレール意識を高めるとともに、更なる電車利用を促すため、ほくほく線うらがわら駅舎を活用し、イベントやカフェ等を行う。 【地域独自の予算事業】 【新規】 ・うらがわら駅舎を用いたカフェ事業補助金
鉄道駅舎等管理運営費	576 万円	ほくほく線利用者の利便性を確保するため、施設の維持管理を行う。 ・うらがわら駅、虫川大杉駅の駅舎及び駐車場の維持管理 【新規】 ・うらがわら駅前ロータリー舗装修繕
町内会関係費集会場整備費補助事業	18 万円	町内会集会場の整備促進を図るため、増改築・修繕等に要する費用に対して補助金を交付する。 ・集会場修繕の補助(中猪子田町内会:雪下ろしアンカー設置)

事業項目	予算額	内 容
財産管理費	794 万円	浦川原区内の市有財産の適切な管理及び効果的な運用を行うとともに、未 利用財産の処分を進める。 ・ 除草業務委託（旧うらがわらマナビィハウス空き地、下水道処理場隣接 空き地） ・ 借地料（岩室森林公園用地、上越地域振興局倉庫用地） 【新規】 ・ 旧浦川原運動広場跡地用地測量業務委託 ・ 旧浦川原運動広場跡地用地調査業務委託 ・ 旧浦川原運動広場跡地用地不動産鑑定業務委託
消防施設管理費	699 万円	消防積載車、消防ポンプ車、消防器具置場の適切な維持管理を行う。 【新規】 ・ 末広消防部（飯室）消防積載車更新
市民の文化活動推 進事業、その他一 般事務費	79 万円	日本古来の「和太鼓」を通じて、我が国の伝統文化と和の心を当地浦川原 から発信し、我々が住むこのまちを「人と地域が元気なまち」にするた め、「浦川原和太鼓祭」を開催する。 【地域独自の予算事業】 ・ 第 15 回浦川原和太鼓祭開催事業補助金
浦川原工業団地維 持管理費	102 万円	浦川原工業団地の適切な維持管理（緑地帯の除草、土砂分離槽の土砂撤 去）を行う。
浦川原区観光施設 等整備事業	107 万円	霧ヶ岳公園（旧浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ）広場及びトイレの適切な管理を 行う。
浦川原観光振興対 策事業	24 万円	浦川原区内における交流と区外からの誘客を進め、雪と親しみながら地域 活力の向上を図るため、「うらがわら雪あかりフェスタ」を開催する。 【地域独自の予算事業】 ・ うらがわら雪あかりフェスタ開催事業補助金
農業振興公社運営 費補助金	585 万円	農業振興公社の運営に対する補助を行う。 ・ 農業振興公社運営費補助金（浦川原農業振興公社、大島農業振興公社）
月影の郷管理運営 費	503 万円	農山村の資源や文化を観光資源とする「越後田舎体験」等の受入施設とし て、管理運営を行う。 ・ 指定管理業務委託（R6. 4～R9. 3） 月影の郷運営委員会 【新規】 ・ 建築設備定期点検業務委託 ・ Wi-Fi 中継器購入（4 台）
浦川原区農村地区 多目的集会所管理 運営費	107 万円	浦川原区農村地区多目的集会所（浦川原里山地域活性化センター）の管理 運営を行う。 ・ 鍵保管謝礼、除草謝金 【新規】 ・ 建築設備定期点検業務委託

事業項目	予算額	内 容
中山間地域等活性化対策事業（交付金）	1億9,641万円	中山間地域等直接支払交付金を活用し、地域が連携して農地保全と担い手育成を推進することにより、中山間地域農業の振興を図る。
上越市将来ビジョン実践事業費補助金	150万円	令和4年度に策定した中山間地域の将来ビジョンを実現するため、地域の本格的な実施に先立って行う準備及び試行的な取組並びに中心的な役割を担う組織体制の構築に要する経費を支援する。 【新規】 ・上越市将来ビジョン実践事業費補助金（安塚区、浦川原区、大島区に各500,000円）
鳥獣害対策	—	上越市鳥獣被害防止対策協議会予算 ①電気柵設置 ・【新設】（安塚区） 1か所 L=4,580m（中船倉） （浦川原区） 1か所 L=1,050m（蕨岡：農業振興公社） ・【予防】（浦川原区） 1か所 L= 380m（法定寺：農業振興公社） ②鳥獣被害対策実施隊 箱わな設置 上越市全体で新規に10基設置予定（※新規設置地区は今後募集） ③有害鳥獣捕獲活動支援事業 捕獲したイノシシに対し、成獣1頭当たり15,000円、幼獣1頭当たり6,000円を支援 （ニホンジカは、成獣1頭当たり12,000円、幼獣1頭当たり5,000円） ④新規猟銃取得支援 49歳以下、かつ、鳥獣被害対策実施隊になる人で、初めて猟銃を取得する場合、猟銃購入費の一部を支援 銃購入費（税抜き）の1/2以内（補助上限額：1丁当たり100,000円） ⑤第1種銃猟免許、猟銃の所持許可取得支援 第1種銃猟免許及び猟銃の所持許可を新たに取得し、かつ、猟友会に所属し、市の有害鳥獣捕獲に協力する人を支援（54,000円上限） ⑥わな猟、網猟、第2種銃猟免許の取得支援 狩猟免許（わな猟、網猟、第2種銃猟免許）を新たに取得する人を支援（10,000円上限） ⑦集落環境診断 集落の地形状況や環境を確認し、イノシシが出没しにくい環境整備を住民に指導、助言する。また、住民が実施する環境整備に対し、市・JA・農協等の関係機関が相互に連携して協力する。 ※R6実施地区は今後募集 ⑧農作物被害調査 全市の農家組合を対象に農作物被害調査を実施
浦川原区農業用施設等維持管理費	33万円	浦川原区の農道、農業用施設の維持管理費等 ・農道、農業用施設の管理システムの維持管理経費



事業項目	予算額	内 容
浦川原区河川管理費	236 万円	地元住民に憩いの場を提供し、健康の増進と向上に資するため、河川公園等を維持管理する。 ・河川等維持管理委託（沢口ふるさと公園、桜つつみ公園、谷ふれあい公園）
除雪費（浦川原区）	1 億 1,879 万円	冬期間の市民の安全・安心及び民生の安定と産業基盤の強化を図るため市道の除雪を行う。 ・市道除排雪委託 車道 L=73.46km 歩道 L=1.23km
うらがわら保育園通園バス運営事業	296 万円	保育園児の通園のための専用車両を運行することにより、登園・降園時における園児の安全を確保し、保護者の負担軽減を図る。 ・NPO 夢あふれるまち浦川原へ運行業務を委託 ・運行台数：2 台 ・利用者負担：児童一人往復 2,500 円/月、片道のみ利用 1,250 円/月
浦川原保健センター管理運営費	460 万円	市民の健康づくりを支援するための拠点施設として管理運営し、各種事業の実施や利用者の交流の場として活用する。 ・光熱水費、施設維持管理費等
生活支援ハウス運営費	1,279 万円	介護支援サービス、居住サービス及び交流の機会を総合的に提供し、高齢者が安心して健康的な生活を送られるよう支援するため、生活支援ハウスを設置・運営する。 ・指定管理業務委託料、光熱水費等
地域支え合い事業	403 万円	高齢者の介護予防、地域における自立した生活、心身の健康保持を図るために必要な支援を行うことにより、地域において介護予防の重要性を啓発するとともに高齢者の支え合い体制を構築する。 ・NPO 法人夢あふれるまち浦川原へ業務委託 ・委託内容：協議体会議、サロン運営、サロン等送迎車運転業務、介護予防教室等
不法投棄物回収事業	36 万円	浦川原区の不法投棄常習地点監視路線（林道）にネットを設置し、不法投棄を防止する。 ・県道柿崎牧線（朔日峠）1 か所 【新規】 ・林道飯室横川線（飯室地内）1 か所 L=14m
浦川原区スクールバス等運行事業	1,655 万円	浦川原小学校及び東頸中学校に通学する児童・生徒に対し、安全な通学を確保するため、スクールバスを運行する。 〈定期運行〉 ・小学校の対象地域に居住する児童の登下校 ・中学校の浦川原区居住生徒のうち、遠距離通学費補助対象地域に居住する生徒の冬期間の登校 【新規】 ・中学校の安塚区及び大島区に居住する生徒の登下校 〈臨時運行〉 ・児童・生徒が参加する校外学習や課外活動等における送迎

事業項目	予算額	内 容
浦川原地区公民館事業	37 万円	市民が健康で生きがいのある生活をおくれるよう、生涯学習の場を提供する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味・教養講座：めぐって知ろう！ふるさとの魅力</li> <li>・体育・レクリエーション講座：の～んびりノルディックウォーキング教室、らくらく健康ヨガ</li> <li>・青少年教育活動事業：夏休み子ども体験教室、UV レジン教室、書初め教室</li> <li>・親子活動講座：親子で楽しむ♪工作教室</li> <li>・夏休み子どもつどいのひろば</li> <li>・地域・現代課題講座：いきいきカレッジ</li> <li>・ふるさと未来づくり事業：第 9 回手作りの小さな文化祭</li> <li>・公民館だよりの発行</li> </ul>
浦川原地区公民館の管理運営	312 万円	社会教育の推進、生涯学習の拠点として、市民が利用しやすいよう施設の維持管理を行う。 <b>【新規】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット環境の整備（モバイルルーターの設置）</li> </ul>
浦川原区体育施設管理運営費	1,061 万円	利用者が安心してスポーツを楽しめるよう、浦川原体育館の維持管理を行うとともに、適切に管理運営を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・浦川原区体育施設管理業務委託 NPO 法人うらがわらスポーツクラブ</li> </ul>
体育施設整備事業	79 万円	スポーツ施設を安全で快適に利用できるよう環境整備を行う。 <b>【新規】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用照明修繕（柔剣道場兼卓球場ほか 10 台取替）</li> </ul>
学校体育施設開放事業	313 万円	子どもたちの夏休み期間における運動不足の解消や体力増進、水に親しむ場の提供のため、浦川原小学校のプールを開放する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・監視業務委託料、ユニットハウス借上料、水質検査手数料、薬品等消耗品費</li> </ul>
一般スポーツ活動推進事業	112 万円	<b>【新規】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・えちご・くびき野 100 km マラソン交付金 市民が一体となって当市の魅力をアピールし、ランナーへのおもてなしにより、地域振興、交流人口の拡大に寄与するため、「第 15 回えちご・くびき野 100 km マラソン大会」を開催する。</li> </ul> <b>【地域独自の予算事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うらスポマラソン大会開催事業補助金</li> </ul>

## 現状推移シナリオ

## 安定化シナリオ

何もしないと、小・中学生数は10年間で1/2に！？

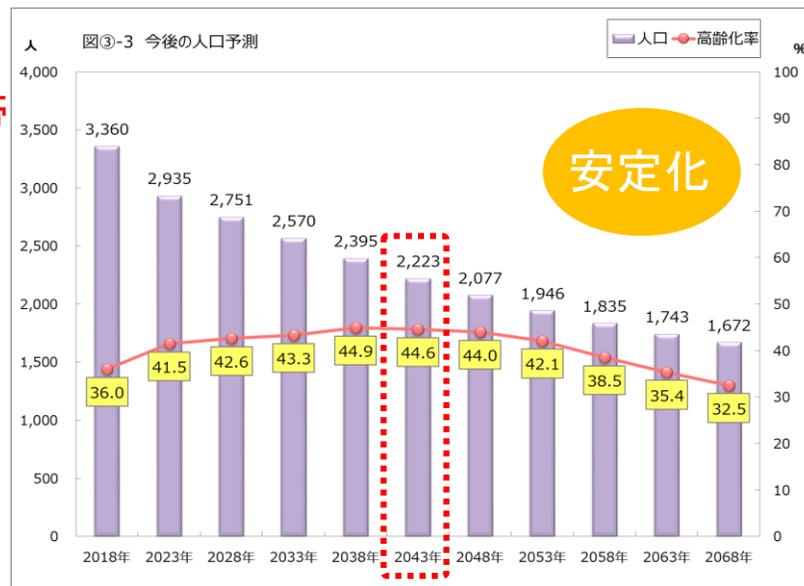
20年後には・・・ 人口 : 1,559人  
小中学生 : 56人

浦川原区の1年間の当たりの定住増加の目標値

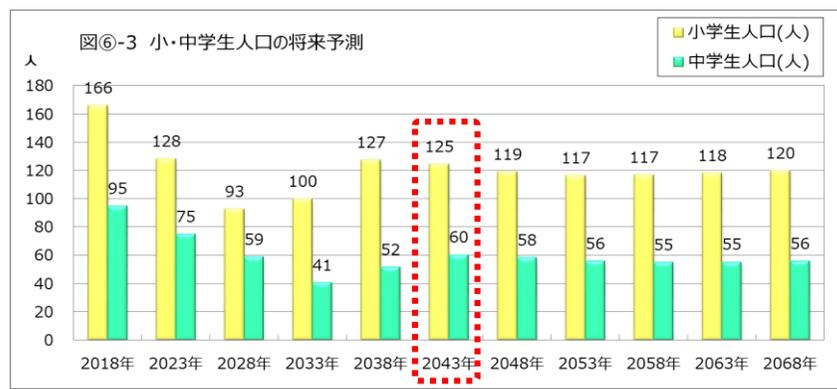
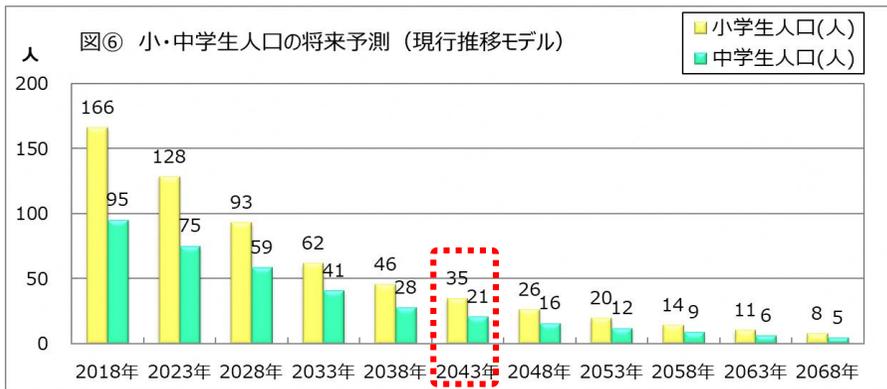
- ・ 20代前半夫婦 4世帯 毎年
- ・ 30代子連れ夫婦 4世帯 合計11世帯
- ・ 60代定年帰郷夫婦 3世帯 26人

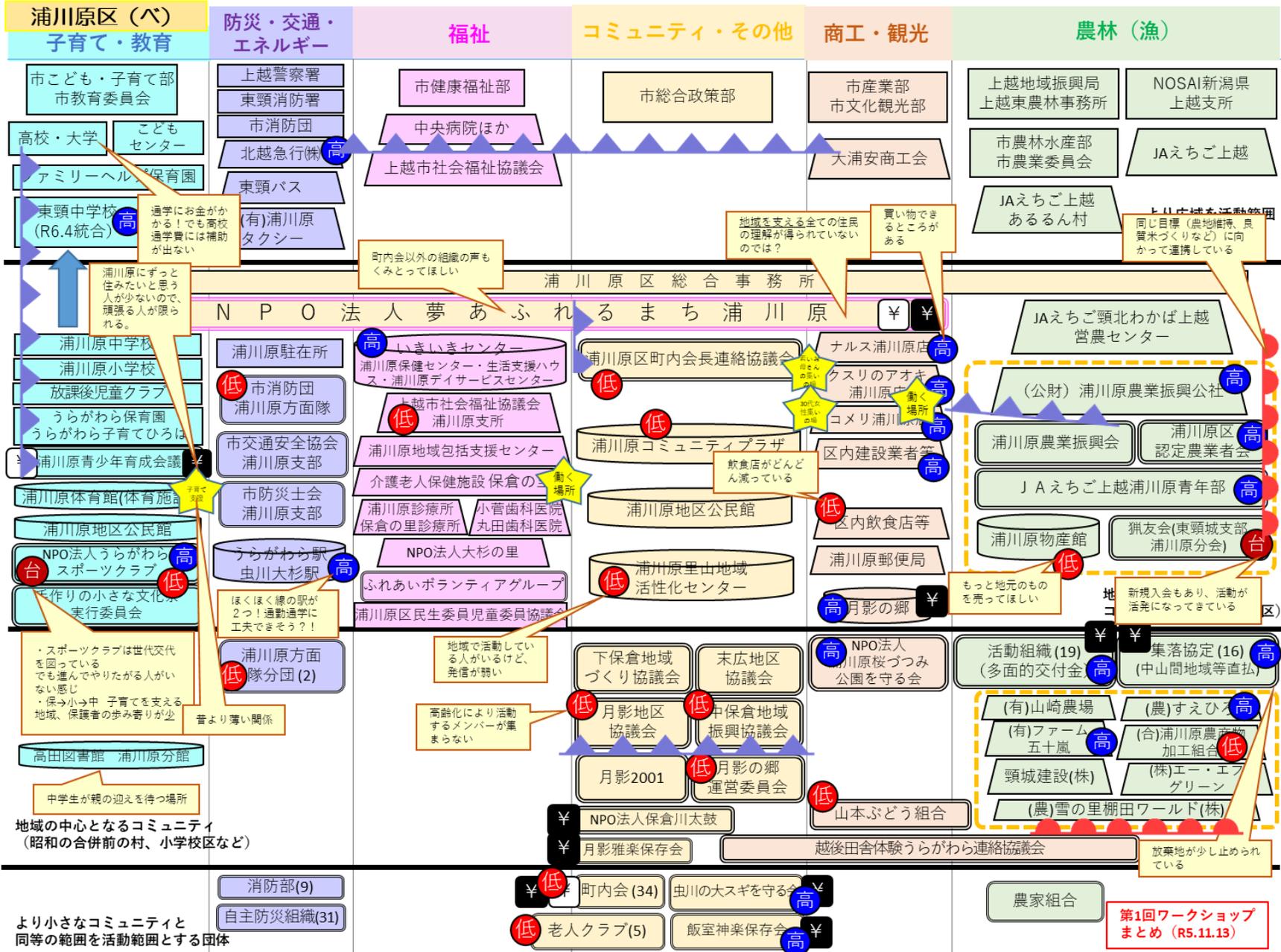


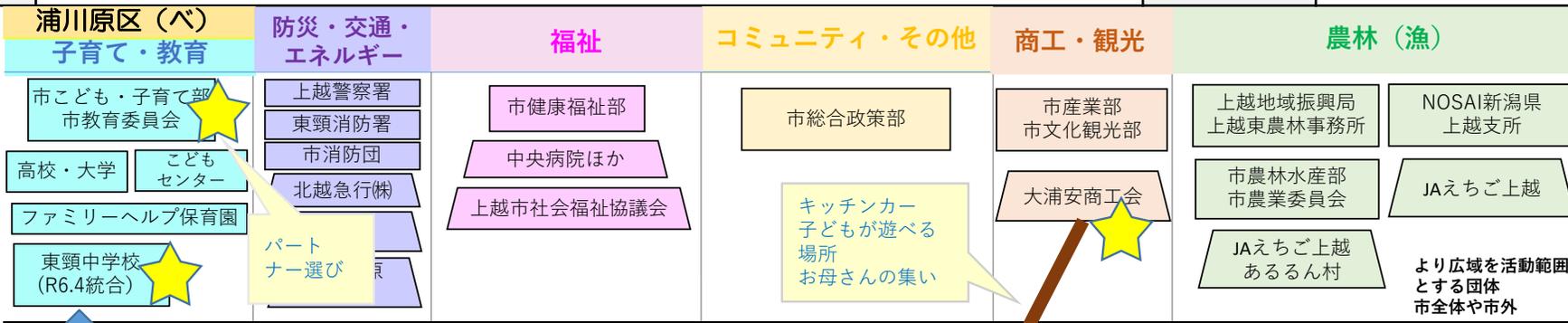
毎年11世帯  
移住者が  
くると・・・



安定化



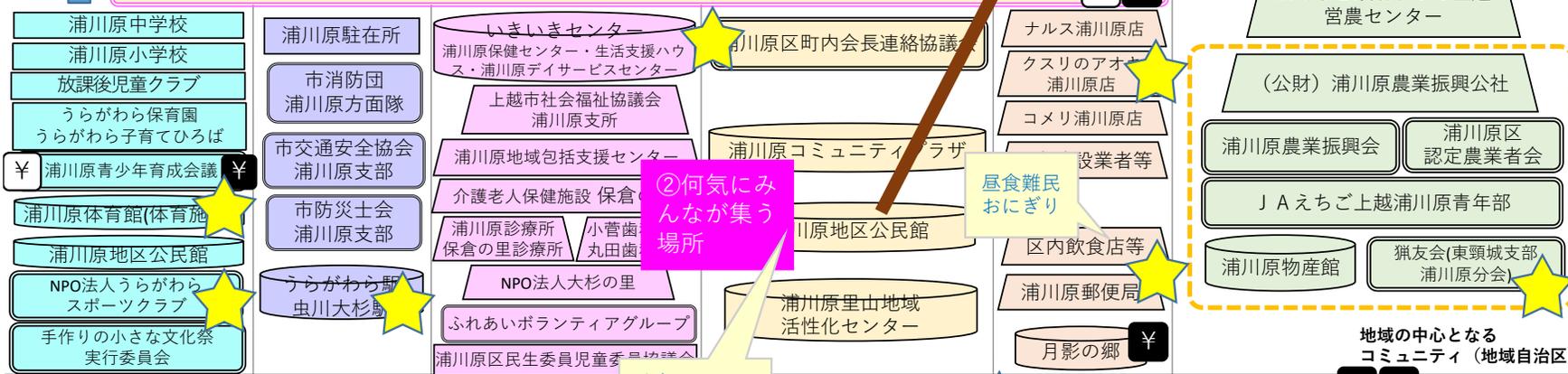




浦川原区総合事務所

①発信局

NPO法人夢あふれるまち浦川原

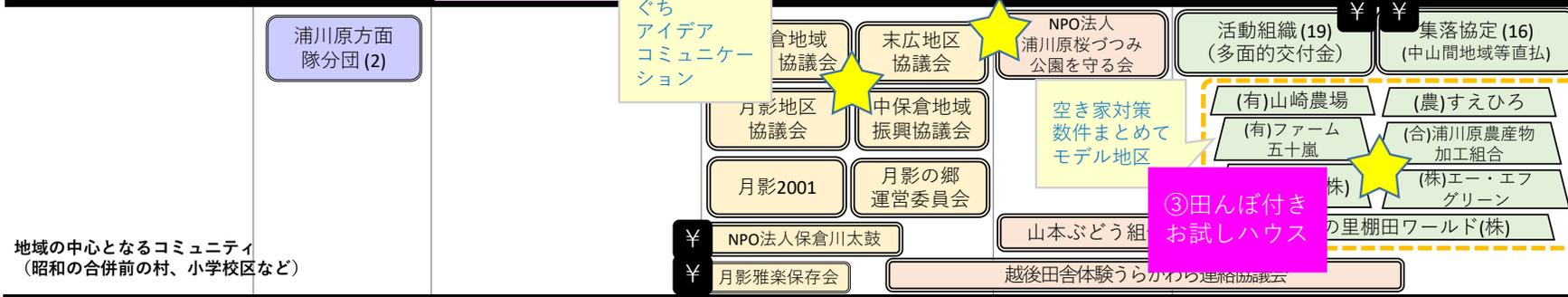


②何気にもみんなが集う場所

昼食難民おにぎり

ぐちアイデアコミュニケーション

③田んぼ付きお試しハウス



地域の中心となるコミュニティ(昭和の合併前の村、小学校区など)

より小さなコミュニティと同等の範囲を活動範囲とする団体

消防部(9)  
自主防災組織(31)

町内会(34)  
老人クラブ(5)  
由川の大スギを守る会  
飯室神楽保存会

農家組合

第2回ワークショップ  
まとめ (R5.12.11)

## 現状・課題

- ・人口減少の要因として、10代後半から20代前半までにかけて、進学や就職を機に市外へ転出する若者が多く、その後、戻ってくる人も減少している。また、20代後半から30代の子育て世代の転出も多い。
- ・このまま放置すると、急激な人口減少と高齢化が進行する。
- ・何もしないと、小・中学生数は、10年間で半減もあり得る。
- ・移住や暮らしに関する情報や定住の窓口となる体制が一元化されておらず、移住や定住の獲得機会を逃している。
- ・まちづくりの様々な分野において、担い手不足が顕著化しており、若者の参画や活動を活性化する必要がある。

## 地域の魅力・特徴

- ・【強み】 農業関係の組織の充実・連携
- ・【強み】 子育て環境が整っている。  
【台風】 NPO法人うらがわらスポーツクラブ
- ・【強み】 スーパーやドラッグストア、ホームセンターなど、買い物ができるところがある。  
→ 若いお母さん・30代女性の集いの場、働く場所
- ・【弱み】 地区協議会や各分野の組織の関係性が薄い。  
【台風】 NPO法人夢あふれるまち浦川原  
→ 各組織を結びつけるハブ機能の役割



## 取組の柱

### 柱① 集いの場

浦川原に暮らしている人たちの満足度を上げないと、そこに暮らしてみたいと思う人は増えない！

まずは、地元の人たちが集い、おしゃべりしたり、子どもを遊ばせたり、学び合うなどの場を作る。

### 柱② おためしハウス

空き家を活用し、田舎暮らしを体験する「おためしハウス」をモデル地区や町内会で開設し、移住・定住の促進につなげる。

### 柱③ 情報の発信

浦川原区内の様々な情報をリンクさせ、ホームページやSNSなどで区内外へ発信する発信局を作る。

取組の概要

浦川原に暮らしている人たちの満足度を上げないと、そこに暮らしてみたいと思う人は増えない！  
 まずは、地元の人たちが集い、おしゃべりしたり、子どもを遊ばせたり、学び合うなどの場を作る。

NPO法人

夢あふれるまち浦川原

- ・「集いの場」を開設する。
- ・集まった人の声を吸い上げるとともに、コミュニケーションを通じて、暮らしの満足度を上げるアイデアを得る。
- ・時には、キッチンカーやカフェなどを併設するため、業者を手配する。
- ・市やJAの施設を会場に利用する。

市・浦川原区総合事務所

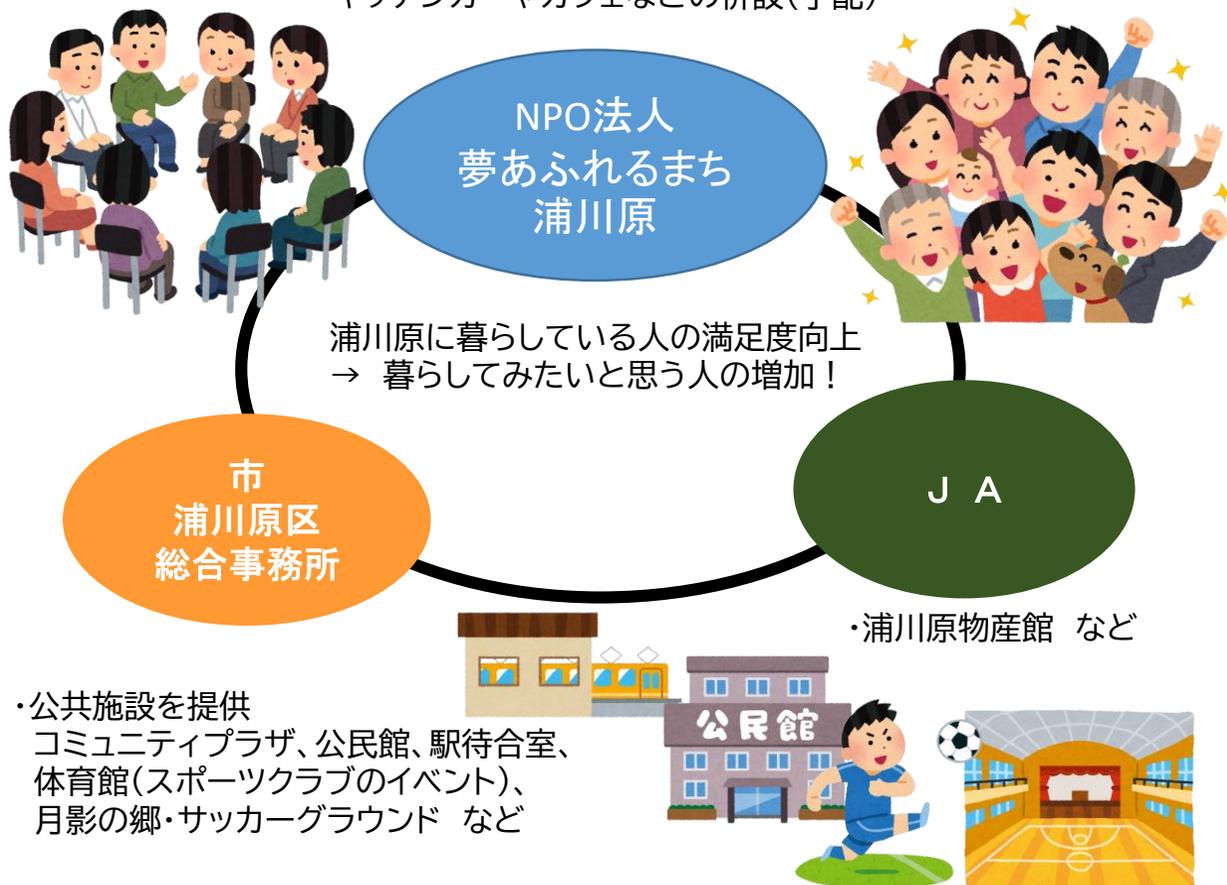
- ・会場として、公共施設を提供する。
- ・コミュニティプラザ、公民館、駅待合室、体育館(スポーツクラブのイベント)、月影の郷・サッカーグラウンド など

JA

- ・会場として、浦川原物産館 など

推進体制

- ・会場や管理人の手配
- ・集まった人の声を吸い上げる。
- ・コミュニケーションを通じて、暮らしの満足度を上げるアイデアを得る。
- ・キッチンカーやカフェなどの併設(手配)



## 柱② おためしハウス

シート番号

⑥

チーム名

浦川原区ベテランチーム

### 取組の概要

空き家を活用し、田舎暮らしを体験する「おためしハウス」をモデル地区や町内会で開設し、移住・定住の促進につなげる。

### モデル地区やモデル町内会

- ・「おためしハウス」を開設する。
- ・NPOと空き家や遊休農地の情報を共有する。
- ・お試し期間や移住後の農業体験を実施する。
- ・地元の実情などを知るため、高齢者世帯へのショートステイを実施する。
- ・農業の指導や生活の相談相手として、主に高齢者が世話人の役目を担う。

### NPO法人

#### 夢あふれるまち浦川原

- ・移住・定住部門や相談窓口、案内人を設置し、移住に関する情報の一元化や発信を行う。
- ・空き家情報バンクにより、所有者と利用者のマッチングを図る。
- ・お試し期間や移住後の体験プラン(地域の伝統文化・芸能活動3団体、猟友会活動の見学など)を実施する。

### 農業公社、商工会

- ・就労や起業、事業継承の相談などを受ける。
- ・空き家のリノベーションや農地に関する相談などを受ける。

### 推進体制

- ・移住・定住部門の設置
- ・相談窓口、案内人の設置
- ・移住に関する情報の一元化・発信
- ・空き家情報バンク(所有者と利用者のマッチング)
- ・お試し期間や移住後の体験プラン(地域の伝統文化・芸能活動3団体、猟友会活動の見学 など)



- ・空き家や遊休農地の情報提供
- ・お試し期間や移住後の農業体験
- ・地元の実情や歴史などを知るため、高齢者世帯へショートステイ
- ・世話人の設置(農業の指導や生活の相談相手として、主に高齢者が役目を担う。)

- ・就労や起業、事業継承の相談 など
- ・空き家のリノベーションや農地に関する相談 など

取組の概要

浦川原区内の様々な情報をリンクさせ、ホームページやSNSなどで区内外へ発信する発信局を作る。

NPO法人

夢あふれるまち浦川原

- ・区内外へ発信する発信局となる。
- ・地域の様々な組織や人への取材や情報提供を受ける。

地域の様々な組織・人々

- ・情報の提供元

市・浦川原区総合事務所

- ・NPOの発信局の情報を市ホームページやSNSとリンクさせる。

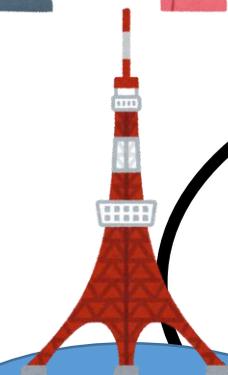
推進体制

・情報の提供元

- 町内会
- 地区協議会
- NPO法人うらがわらスポーツクラブ
- JAえちご上越浦川原支部、農業法人
- 区内のお店
- 小・中学校、保育園
- 浦川原地区公民館 など



町内会など  
地域の様々な  
組織・人々



NPO法人  
夢あふれるまち  
浦川原



市  
浦川原区  
総合事務所

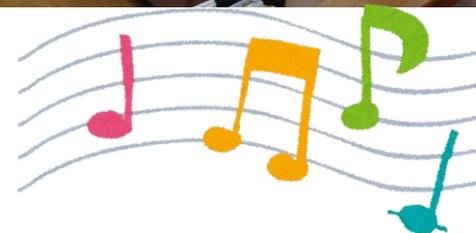
- ・浦川原区内の様々な情報の発信局
- ・浦川原区内の様々な情報のリンク

- ・市ホームページやSNSとリンク

## しゃべり場・遊び場・カフェコミプラ

浦川原コミュニティプラザ2階（玄関正面）の市民サロンを「集いの場」にしちゃおう！

- ・土曜か日曜に集まろう！
- ・市民サロンの真ん中に置かれている応接椅子（11脚）やテーブル（4台）を壁際に移して、サロンの中心を囲んで座れるようにしよう！  
足りなければ、木のベンチも使える。
- ・空いたスペースに子供たちが遊べるマットを敷く。  
大人が座って話をしてもいいね。
- ・美味しいコーヒーが飲みたいね。
- ・イベントをやってもいいね。  
レクリエーションや音楽、イベントでなくても演奏できるかな？
- ・運営は誰がする？  
ルールを決める必要があるね。



## 現状推移シナリオ

## 安定化シナリオ

何もしないと、小・中学生数は10年間で1/2に！？

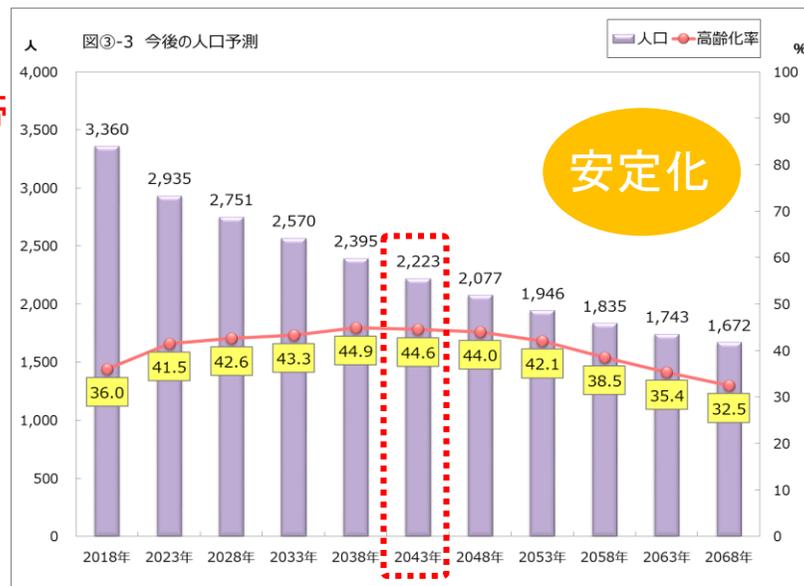
20年後には・・・ 人口 : 1,559人  
小中学生 : 56人

浦川原区の1年間の当たりの定住増加の目標値

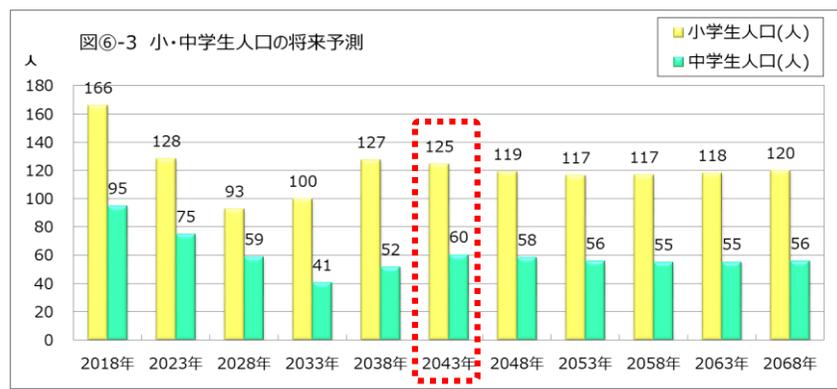
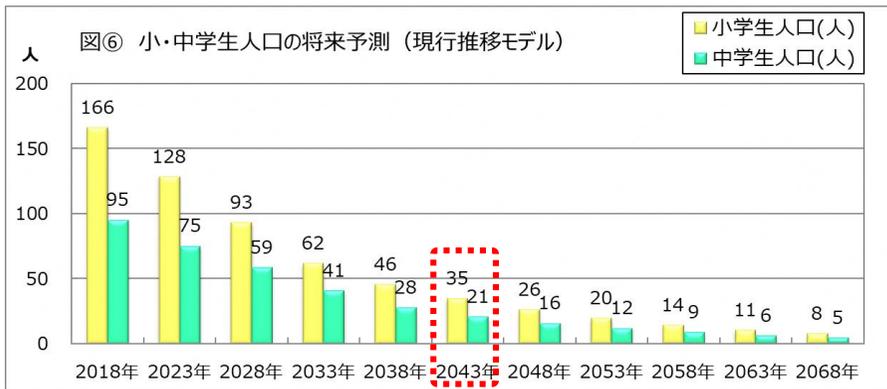
- ・ 20代前半夫婦 4世帯 毎年
- ・ 30代子連れ夫婦 4世帯 合計11世帯
- ・ 60代定年帰郷夫婦 3世帯 26人



毎年11世帯  
移住者が  
くると・・・



安定化



浦川原区(ヤ) 子育て・教育	防災・交通・エネルギー	福祉	コミュニティ・その他	商工・観光	農林(漁)
-------------------	-------------	----	------------	-------	-------

<p>市こども・子育て部 市教育委員会</p> <p>高校・大学 こどもセンター</p> <p>ファミリーヘルプ保育園</p> <p>東頸中学校 (R6.4統合)</p> <p>・中学校の統合、そのうち小学校も・・・ ・統合しても浦川原にあると登下校しやすい</p>	<p>上越警察署</p> <p>東頸消防署</p> <p>市消防団</p> <p>北越急行(株)</p> <p>東頸バス</p> <p>浦川原</p> <p>高台</p>	<p>市健康福祉部</p> <p>中央病院ほか</p> <p>上越市社会福祉協議会</p> <p>・駅あり、バスあり、タクシーあり、優秀なはず・・・ ・高校進学等、便利</p>	<p>市総合政策部</p>	<p>市産業部 市文化観光部</p> <p>大浦安商工会</p> <p>低</p> <p>毎年祭りをこなすだけになってきている</p>	<p>上越地域振興局 上越東農林事務所</p> <p>NOSAI新潟県 上越支所</p> <p>市農林水産部 市農業委員会</p> <p>JAえちご上越</p> <p>JAえちご上越 あるん村</p> <p>高</p> <p>ナルスで買えないものが買えて楽しい。手作りのお菓子とか</p> <p>より広域を活動範囲とする団体 市全体や市外</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------	---------------	-------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

浦川原区総合事務所

NPO法人 夢あふれるまち浦川原

<p>浦川原中学校</p> <p>浦川原小学校</p> <p>放課後児童クラブ</p> <p>うらがわら保育園</p> <p>うらがわら子育てひろ</p> <p>浦川原青少年育成会議</p> <p>浦川原体育館(体育施設)</p> <p>浦川原地区公民館</p> <p>NPO法人うらがわらスポーツクラブ</p> <p>手回しの小さな文化祭実行委員会</p> <p>うらがわらマラソンなどに中学生が参加してくれる →ご両親も参加してもらえるのでイベントが盛り上がる</p> <p>子どもが遊べる公園がない児童館</p>	<p>浦川原駐在所</p> <p>浦川原方面隊</p> <p>市消防団</p> <p>市防炎士会</p> <p>浦川原支部</p> <p>うらがわら駅</p> <p>虫川大杉駅</p> <p>浦川原方面隊分団(2)</p> <p>浦川原地区公民館</p> <p>消防部(9)</p> <p>自主防災組織(31)</p>	<p>いきいきセンター</p> <p>浦川原保健センター・生活支援ハウス・浦川原デイサービスセンター</p> <p>上越市社会福祉協議会 浦川原支所</p> <p>浦川原地域包括支援センター</p> <p>介護老人保健施設 保倉の里</p> <p>浦川原診療所 菅歯科医院 保倉の里診療所 丸田歯科医院</p> <p>NPO法人 杉の里</p> <p>ふれあいボランティアグループ</p> <p>浦川原区民生委員児童委員協議会</p> <p>川由の大スギを守る会</p> <p>飯室神楽保存会</p>	<p>浦川原区町内会長連絡協議会</p> <p>浦川原コミュニティプラザ</p> <p>浦川原地区公民館</p> <p>浦川原里山地域活性化センター</p> <p>下保倉地域づくり協議会</p> <p>月影地区協議会</p> <p>月影2001</p> <p>NPO法人 保倉川大鼓</p> <p>月影雅楽保存会</p> <p>老人クラブ(5)</p>	<p>浦川原地区公民館</p> <p>区内飲食店等</p> <p>浦川原郵便局</p> <p>浦川原里山地域活性化センター</p> <p>月影の郷</p> <p>NPO法人 川原桜づつみ園を守る会</p> <p>山本ぶどう組合</p> <p>越後田舎 験うらがわら連絡協議会</p>	<p>JAえちご頸北わかば上越 営農センター</p> <p>(公財)浦川原農業センター</p> <p>浦川原農業振興会</p> <p>JAえちご上越浦川原青年部</p> <p>浦川原物産館</p> <p>活動組織(19) (多面的交付金)</p> <p>(有)山崎農場</p> <p>(有)ファーム五十嵐</p> <p>頸城建設(株)</p> <p>(農)雪の里棚</p> <p>集落協定(16) (中山間地域等直払)</p> <p>(農)すえひろ</p> <p>(合)浦川原農産物加工組合</p> <p>(株)エー・エフ・グリーン</p> <p>(農)ワールド(株)</p> <p>豊家組</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第1回ワークショップ  
まとめ (R5.11.13)

活動する団体

地域を中心とするコミュニティ(昭和の合併前の村、小学校区など)

・近場でほしいものがそろわない(ミルクやオムツ等)  
・確実に浦川原を住みやすくしている

・近場でほしいものがそろわない(ミルクやオムツ等)  
・確実に浦川原を住みやすくしている

・国道で車の通りも多いのに、ただの通り道になってしまっている

・何かをやっているみたいだけど、参加したいとまで思わない。

・イベントを定期的に開催している  
・移住促進のため、移住を検討している方のおためし移住拠点になったり、地域案内などの窓口になりそう

・たくさんの方に来ていただけるイベントがあれば  
・地元新鮮な野菜が手に入る。が、入りにくい。

・盛上がり感があまりない。行事等・・・

・学生へ畑の指導をしてきている。子どもがとても興味をもった

・他県の方にこの地の暮らしなどを知ってもらえる場がある →今は学生向けだが、一般の移住希望の方向けにも展開できないか?

・昔からの加工品を作っている、他地域のお土産にもできる。誇らしい。



## 現状・課題

- ・人口減少の要因として、10代後半から20代前半までにかけて、進学や就職を機に市外へ転出する若者が多く、その後、戻ってくる人も減少している。また、20代後半から30代の子育て世代の転出も多い。
- ・このまま放置すると、急激な人口減少と高齢化が進行する。
- ・何もしないと、小・中学生数は、10年間で半減もあり得る。
- ・移住や定住に関する情報が一元化されておらず、窓口が明確になっていない。また、浦川原区の魅力を発信する場がないことから、移住や定住の獲得機会を逃している。

## 地域の魅力・特徴

- ・【強み】 NPO法人うらがわらスポーツクラブと学校の連携、放課後児童クラブ・子育てひろば等の子育て環境  
→ 子育て支援・若いお母さんの集いの場
- ・【弱み】 駅周辺の盛り上がり感がイマイチ…もっとイベント等があれば…
- 【台風】 浦川原物産館  
→ 駅に隣接している環境を生かして、イベント開催や店内への飲食スペース設置により人が集まる場所に
- ・【強み】 スーパーやドラッグストア、ホームセンターなど買い物できる環境が充実  
→ 若いお母さんの集いの場・働く場所
- ・【弱み】 区内の各分野同士の連携不足  
→ 各分野を結びつけるハブ機能を担う団体が必要



## 取組の柱

### 柱① スポーツでつながる地域

子どもたちの選択肢を増やすため、様々なスポーツを体験できるような機会を作る。地域や住民同士のつながりを作るため、誰でも気軽にできる種目の体験会などを実施しながら区内に広める。

### 柱② うらがわら駅周辺の充実

駅の隣という好立地を生かし、浦川原物産館にカフェや飲食スペースを設けるほか、キッチンカーや飲食店の誘致など、日常の中での楽しみを増やし、地域の人が顔を合わせる場所にする。

### 柱③ 情報発信のベース基地

団体等が個々に情報発信するだけでなく、誰でも発信できる仕組みと合わせて様々な情報が集まるSNSサイトを作る。

## 取組の概要

子どもたちの選択肢を増やすため、様々なスポーツを体験できるような機会を作る。

地域や住民同士のつながりを作るため、誰でも気軽にできる種目の体験会などを実施しながら区内に広める。

## NPO法人うらがわらスポーツクラブ

- ・定額制の体験プログラムを作成し、子どもたちが様々な種目を体験できる機会にすることで、スポーツの選択肢を増やす。
- ・親子で楽しめる種目や誰でもできる種目の体験教室や大会を開催し、区内の地域や住民同士がつながっていけるような取組を広める。
- ・灯の回廊に絡めた雪を生かした雪上イベントを開催して子どもたちの忘れられない思い出作りの機会にする。

## 町内会 4地区協議会

- ・健康づくりのため、地域住民も参加しながら、みんなで運動する取組（例えば子ども会等で行っているラジオ体操やウォーキングなど）の機会を継続・拡大する。
- ・誰でもできる種目で行われる地区別対抗大運動会に参加する。

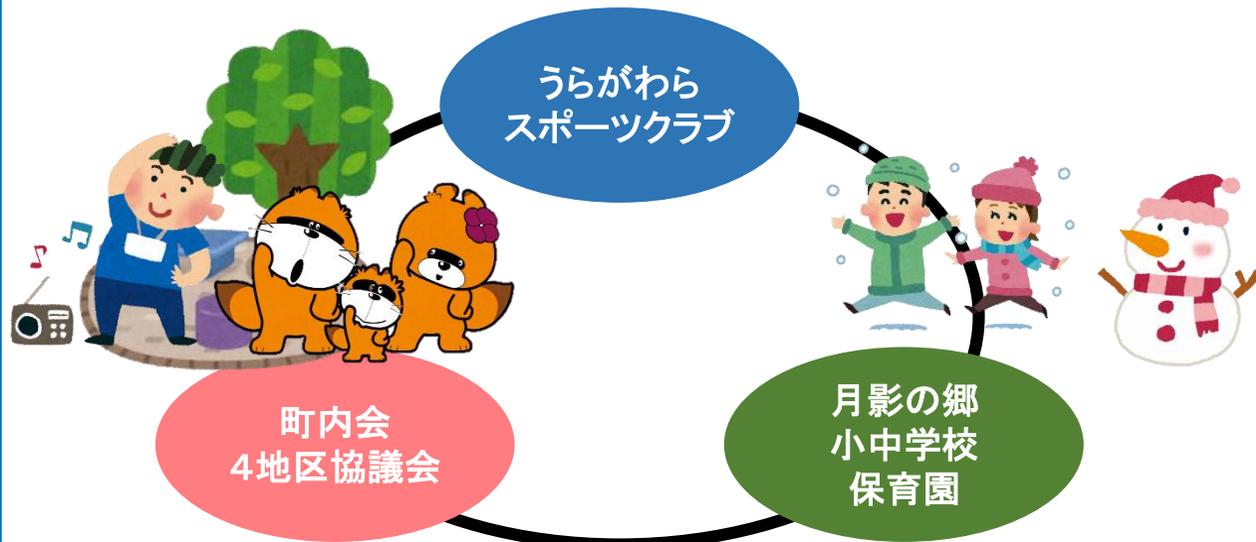
## 月影の郷・小中学校・保育園

- ・各種イベントに協力する。

## 推進体制



- ・スポーツのサブスクリプション
- ・親子で楽しむスポーツ体験イベント
- ・誰でもできるスポーツ種目の体験教室・大会の開催



- ・みんなが運動でつながる取組（例えばラジオ体操など）
- ・誰でも気軽にできる種目で地区別対抗大運動会



- ・灯の回廊に絡めた雪を生かした雪上イベントで子どもたちの思い出づくりを

## 取組の概要

駅の隣という好立地を生かし、浦川原物産館にカフェや飲食スペースを設けるほか、キッチンカーや飲食店の誘致など、日常の中での楽しみを増やし、地域の人々が顔を合わせる場所にする。

## 浦川原物産館

- ・店内にカフェや飲食スペースを作り、電車を待つ人や地域の人々が顔を合わせる場所にする。
- ・定期的にキッチンカーを呼ぶ。
- ・定期的に小規模な市（マルシェ）のようなものを開催し、地域の人々が集まり、顔を合わせる場所にする。

## 大浦安商工会

- ・お酒の飲める飲食店を誘致する。

## 新潟第一酒造（株）

- ・電車利用によるお酒のイベントを開催する。
- ・浦川原物産館のイベント等に出店する。

## 協力団体

- ・マルシェに出店して盛り上げる。

## その他

- ・公園を作り、子どもが遊んだり地域の人々が過ごしたりできる憩いの場にする。

## 推進体制



- ・お酒の飲める飲食店の誘致



- ・店内にカフェや飲食スペースを作り、地域の人々が顔を合わせる場所に
- ・定期的にキッチンカーを誘致
- ・定期的に小規模な市（マルシェ）のようなものを開催



- ・駅を活用したお酒のイベント
- ・飲食店の出店



- ・マルシェに出店して盛り上げ

取組の概要

団体等が個々に情報発信するだけでなく、誰でも発信できる仕組みと合わせて様々な情報が集まるSNSサイトを作る。

住民組織

- ・誰でも発信できる仕組みと、浦川原の様々な情報が集まる場所（ポータルサイト）を作って管理する。
- ・情報発信する人をアルバイト的に雇用して内容を充実させる。
- ・情報発信方法を学ぶセミナー講習を開催する。

インフルエンサー

- ・区内の様々な情報を収集して発信する。

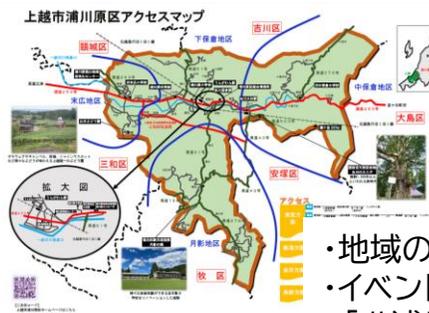
発信協力者

- ・インスタグラムの#（ハッシュタグ）で浦川原の良いところやイベント等を発信する。

市・総合事務所

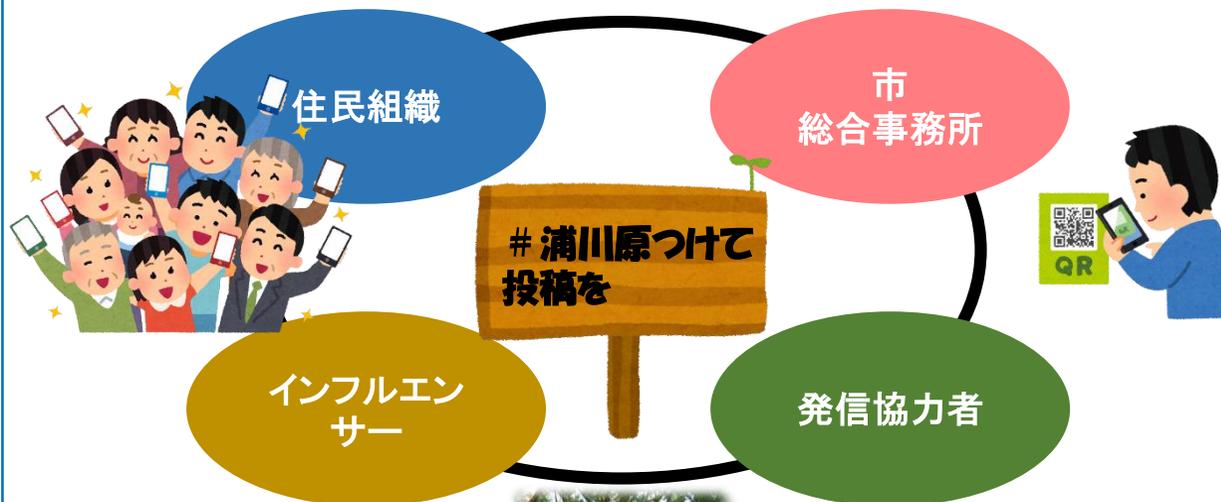
- ・地域のことが分かるマップを作成する。
- ・イベントや観光スポットなどに「#浦川原つけて」と掲示する。
- ・移住の相談窓口を開設し専門相談員を配置する。

推進体制



- ・誰でも発信できる仕組み作り
- ・浦川原の情報が集まる場所（ポータルサイト）を作成
- ・情報発信する人をアルバイト的に雇用
- ・情報発信方法のセミナー講習

- ・地域のことが分かるマップ作成
- ・イベントや観光スポットなどに「#浦川原」つけてと掲示
- ・移住の相談窓口・専門相談員



- ・区内の様々な情報収集・発信



- ・インスタグラムの#（ハッシュタグ）で浦川原の良い所やイベント等を発信

##

## 柱① スポーツでつながる地域

### みんなで運動する取組

健康づくりへの第一歩として、ラジオ体操やウォーキングなどに参加する。



# 浦川原つけて  
投稿を



## 柱③ 情報発信のベース基地

「# 浦川原つけて」の掲示による  
「# 浦川原」投稿の増加

SNS上で浦川原に関する投稿を増やして目にする機会を多くする。



## 柱② うらがわら駅周辺の充実

### イベントや物産館にキッチンカーを呼ぶ



各種イベントや物産館にキッチンカーを呼ぶことで、集客効果を高める。



# 浦川原区 地域協議会だより

発行日：令和6年3月25日  
通算：第58号  
発行：浦川原区地域協議会  
編集：地域協議会編集委員会  
地域協議会事務局  
(総務・地域振興グループ内)

## 「大・浦・安」地域協議会委員研修会を開催

昨年11月10日、当地域共通の課題である「空き家の利活用について」理解を深めるため、3区合同の研修会を開催しました。この研修会には、町内会長や集落づくり推進員のほか、一般にも公開され、区外からの参加も見られました。

講師は、長野県信濃町で主に空き家対策と町の人口増対策に取り組んで成果を上げている「NPO 法人ざいごう」から古澤理事長ほか3人を招いて、活動実態の講演を聞き、その後、質疑応答と意見交換を行いました。

2011年に法人を設立し、理事長夫妻を含む半数の理事が移住者で、「活気ある町にしたい」「信濃町の人口減少を食い止めたい」という有志の集まりから始まり、町の魅力を情報発信し、宿泊体験から移住希望者への空き家の紹介へと発展させてきました。

空き家の家主とNPOが賃貸借契約を締結して修繕を施し、その家を移住者の住居として賃貸借するというシステムです。当初は、信濃町や県からの支援を受けるのに苦労したそうですが、今は自治体と良い協力関係を維持しつつ独自に運営しているとのこと。

役に立つ空き家バンクにすること、信濃町の売り込み、移住者の誘いと定住支援、資金調達方法と補助制度の活用など、ノウハウと示唆に富む研修会となりました。



## 出張地域協議会（末広地区）

昨年11月17日午後6時30分から里山地域活性化センターにおいて、出張地域協議会を開催しました。これまで開催した他の地区よりも多くの参加者があり、地区による年齢層の違いに気付きました。また、他の地区よりも活発な意見が出され、地域を思う前向きさを感じました。

質問の内容を聴くと、総合事務所や市への意見が多く、十分に地域協議会の活動が区民に理解されていないと感じました。今後も更なる活動が必要だと思います。

出張地域協議会は、普段協議会がどんな活動をしているのか、協議会にどんな意見があるのか、それを拾い上げ、実現できるものは形にしていって、その機会を得るものと考えています。出張地域協議会を今後も続けてまいります。

## 地域協議会活動報告会を開催

2月23日午前10時から、浦川原コミュニティプラザ市民ホールにおいて、地域協議会活動報告会を開催しました。

五井野委員の進行の下、藤田会長が挨拶した後、正副会長及び各委員が4年間の活動を報告しました。また、地域協議会委員の公募について、事務局から説明がありました。



「ふるさと浦川原の伝統文化」を後世に継承

【開催日】

- 活動団体の現地学習・体験 令和5年11月7日（火）
- 意見交換会・まとめ発表会 令和6年1月30日（火）

【ねらい】

- 自分たちの住む「ふるさと浦川原」にある伝統文化に焦点を当て学ぶ。
- 現地学習及び体験を踏まえ、各団体の課題解決に向けた提案をまとめる。

【内容】

- 区内に伝えられてきた伝統文化について深掘りするため、現地学習及び体験活動を行う。
- 生徒22人が3団体を訪問し、講話・見学の後、実際にそれぞれ体験活動を行った。  
訪問先 ①飯室神楽(石動神社) ②月影雅楽(浦川原コミュニティプラザ) ③保倉川太鼓(保倉川太鼓道場)
- 現地学習や体験活動を踏まえ、訪問先ごとに課題等に対する提案をまとめて発表した後、地域協議会委員及び受入れ団体と意見交換を実施。
- 生徒の感想  
飯室神楽：天狗の仮面や動作に魂が入っている感じがした。  
月影雅楽：吹くことが難しい楽器だったが、とてもきれいな音色に感動した。  
保倉川太鼓：演奏スタイルは太鼓正面に立たず、横に立つ「斜め打ち」が印象的だった。
- 3団体共に後継者不足で存続が危うい状況が分かった。

【活動の成果】

- それぞれの伝統文化を実際に体験することにより、身近に感じてもらった。
- 全ての訪問先で後継者が不足しており、後世にどう継承したら良いかが課題であることが分かった。
- 生徒が各団体の動画や英語で紹介するプレゼン資料を作成し発表した。また、絵本を作成するなど、さまざまな形でPRする提案があった。

今回協力いただいた3団体、浦川原中学校の関係者の皆様方、ありがとうございました。

◆現地学習・体験活動の様子



飯室神楽



月影雅楽



保倉川太鼓



意見交換会

## 藤田宏 会長

新型コロナウイルス感染症の4年間でした。出張地域協議会での4地区の想いは、人口減少・獣害対策の願いで終始しました。想いは、ほくほく線・国道253号・上沼道等の交通網の優位性を生かし、「地域独自の予算事業」を用いて当区をアピールすることです。委員は、各種研修で知識を蓄えていますので、実施団体の育成が喫緊の課題です。

## 相澤誠一 委員

農業の委員がいないからという勧めもあり、委員になりました。イノシシ対策に意見を申し上げたところ、総合事務所で対策会議を立ち上げる構想があり、その一員として活動させていただきました。未熟ではありましたが、4年間貴重な経験をさせていただきました、ありがとうございました。

## 春日清美 委員

この4年間で4地区の皆様との懇談会、各団体からの意見徴収、そして中学生との意見交換会、この立場だからこそ体験できた内容でした。行政と地域の皆様とのパイプ役として少しでも役に立ちたいと思いつつ、なかなか結果を出せませんでした。この間は自身の成長につながりました。本当にありがとうございました。

## 五井野利一 委員

任期の4年間で最も印象に残っていることは、中学生のパワーとパッション、そしてあふれ出る郷土愛に触れたことです。生徒の皆様と膝詰めで意見交換をする中で、今後の地域づくりのヒントをたくさんもらいました。

## 村松進 副会長

地域協議会に皆様のご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。特に、出張協議会では、皆様にお世話になり、ご意見をいただきありがとうございました。浦中との意見交換会は、生徒の皆さんのアイデアと提案が参考になりました。4年間ありがとうございました。

## 赤川義男 委員

今まで地元行政にはほとんど無関心の私でしたが、会議に出席してみ、地元が変化していく形や問題点等、多々気付かされることばかりでした。特に、ゆあみの閉鎖、中学校の統合では、熱く取り組まれてこられた皆様に感謝申し上げます。

## 4年間の委員活動を振り返って

## 北澤誠 委員

委員として4年間、地域の問題に関わり、中でも学校の統合に関わることができました。私は子どもがいませんから、もし委員でなければ、内容を知らないまま統合が行われていたことでしょう。委員になれてよかったです。

## 杉田和久 委員

地域活性化のアイデアを持つことは大切ですが、更に大事なことは、地域協議会と地域の皆様が、いかに協力しあっていくかにかかっていると思います。しかし、これがまた難しいと思います。ともあれ次代を担う委員には、多様な自主的審議をお願いする次第です。

## 池田幸博 副会長

4年間の任期があつという間に過ぎてしまいました。今期は若く積極的な委員が多く、地域のことを考える活発な議論ができました。中学生と向き合い、地域の皆さんの意見を聞き、地域の伝統芸能に触れ、大変有意義な4年間でした。

## 小野正広 委員

率直に、長くもあり、あつという間の4年間であつたと思います。この4年間で地域のため、また、地域の課題に自分は何ができたのか、正直実感が湧きません。ただ、今期の協議会委員の皆さんとは本音で話し合えたり、変な気遣いもせず、また、行政の方々にはサポートをいただきながら私のような、今まで携わったことのない無知な者に対し、親切に対応していただいたことに、ただ感謝です。

## 北澤正彦 委員

4年間の活動で、浦川原区が抱える多くの課題に困惑しながら、現状の把握に精一杯でした。この浦川原区の行先を真剣に考えてご尽力されている方々も大勢いらっしゃることに感謝し、微力ながら協力を続けていきたいと思っています。

## 宮川勇 委員

地域活動支援事業では、区内の団体からの申請内容の確認や金額の審査で緊張しました。また、地域が抱える問題や浦中の1年生のいいところ探して、生徒の知らない区内の産業や文化、芸能などについて現場で説明を聞き、自身も知らない区内の状況が分かりました。大変、勉強になった4年間でした。

# 活動報告（令和5年10月～令和6年3月）

日時	項目	主な内容
令和5年 10/24	第7回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生との意見交換会について【委員報告】</li> <li>・3区中学校統合の進捗状況について【市からの報告】</li> <li>・旧浦川原運動広場の跡地利用に係るサウンディング型市場調査の結果について【市からの報告】</li> </ul>
11/10	「大・浦・安」地域協議会委員研修会 (浦川原コミュニティプラザ)	テーマ：中山間地域における空き家の利活用について 講師：特定非営利活動法人 ざいごう 古澤良春理事長ほか3人
11/17	第8回浦川原区地域協議会 (浦川原里山地域活性化センター) ※出張地域協議会として開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生との意見交換会について【委員報告】</li> <li>・令和5年度第3回浦川原区公共交通懇話会の開催結果について【委員報告】</li> <li>・令和5年度冬期道路交通確保除雪計画について【市からの報告】</li> <li>・自主的審議事項の検討について【協議】</li> </ul>
12/22	第9回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浦川原プールの廃止について【1月の諮問に向けての事前説明】</li> <li>・3区中学校統合の進捗状況について【市からの報告】</li> <li>・第2次上越市総合公共交通計画における浦川原区の後期再編計画について【市からの報告】</li> <li>・自主的審議事項の検討について【協議】</li> </ul>
令和6年 1/23	第10回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上越市浦川原プールの廃止について【諮問を受け答申】</li> <li>・令和6年能登半島地震の対応状況について【市からの報告】</li> <li>・地域協議会活動報告会について【協議】</li> <li>・自主的審議事項の検討について【協議】</li> <li>・浦川原区における文化の伝承について【自主的審議事項】</li> </ul>
2/23	地域協議会活動報告会 (浦川原コミュニティプラザ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域協議会の活動報告</li> <li>・地域協議会委員の公募の説明</li> </ul>
2/23	第11回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生との意見交換会（いいとこ探しまとめ発表会含む）について【委員報告】</li> <li>・3区中学校統合の進捗状況について【市からの報告】</li> <li>・上越市浦川原プールの廃止について【市からの報告】</li> <li>・旧浦川原村創作館の無償譲渡について【市からの報告】</li> <li>・地域独自の予算の事業一覧について【市からの報告】</li> <li>・地域おこし協力隊の募集について【市からの報告】</li> <li>・令和5年度第4回浦川原区公共交通懇話会の開催結果について【市からの報告】</li> <li>・次期地域協議会への申し送り事項について【協議】</li> </ul>
3/25	第12回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度浦川原区の主な事業と予算について【市からの報告】</li> <li>・持続可能なまちづくりワークショップについて【市からの報告】</li> <li>・地域協議会委員の公募結果について【市からの報告】</li> <li>・次期地域協議会への申し送り事項について【協議】</li> </ul>

※上記のほか、本紙面に掲載した中学生との意見交換会や自主的審議事項検討のためのグループごとの話し合いなどの活動に取り組みました。

## ■編集後記

今年は例年と比較して少雪の年となり、春の訪れも早いのかと思いましたが、3月に入りまた寒気が入り込み、なかなか暖かくなり、体調を崩される方が多かったのではないのでしょうか。地域協議会委員としての4年の任期も4月後半で終わりを迎えようとしています。地域にはいろいろな問題点がありますが、また、地域独自の魅力もたくさんあります。これからも浦川原区地域協議会を温かく見守っていただきたいと思います。

編集委員：村松副会長・相澤委員・赤川委員・杉田委員